2026 年 11 月 26 日

ＥＮＥＯＳ スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE
第 7 戦 S 耐 FINAL 大感謝祭



予選/決勝ともクラス 2 位入賞を果たす

11 月 14 日(土)～15 日(日)、静岡県の富士スピードウェイでスーパー耐久シリーズ第 7 戦が行われた。

今回は全クラスが揃い、フルグリッド 68 台で 4 時間のレースとなる。Rd.3 富士 24 時間レースぶりにチームに帯同した桂選手にもアドバイスをもらいながら、前日までのテストを順調にこなして本戦に臨んだ。

QUALIFY / 予選

毎年ラップタイムを更新している ST-2 クラスでは、今回の予選も激戦が予想された。A ドライバーの尾藤選手が 1'50.387、B ドライバーの小林選手が 1'50.998 を記録し、A/B ドライバー合算で 2 番手となった。トップは#72 OHLINS CIVIC NATS で、CIVIC 勢がフロントローを占めた。FL5 の 743 号車がデビューして 4 年が経過したが、昨年の Rd.7 予選タイムに対して約 0.5 秒更新しており、マシンの熟成と人の成長が着実に進んでいることを裏付ける結果となった。

＜予選リザルト＞

Pos.	No.	Car	A Dr. Time	B Dr. Time
1	72	OHLINS CIVIC NATS	1'50.985	1'49.651
2	**743**	**Honda R&D Challenge FL5**	**1'50.387**	**1'50.998**
3	7	新菱オート DXL☆MART☆VARIS エボ	1'50.774	1'50.997
4	6	新菱オート DXL☆ネオグローブ EVO X	1'51.792	1'49.992
5	95	SPOON リジカラ CIVIC	1'51.392	1'50.768
6	13	ENDLESS GRYARIS	1'51.809	1'52.105
7	67	YAMATO CIVIC	1'51.806	1'52.315
8	225	KTMS GR YARIS	1'53.036	1'52.641
9	36	HCM 内野製作所 FL5	1'53.455	1'52.643

RACE / 決勝

前日の予選とは変わって朝から雨が降りしきる中、チームは今年最後の決勝レースに向けてマシンの最終チェックを入念に行い、午後の決勝スタートを迎えた。スタート直前から雨脚が強くなり、SC スタートとなったが、路面の水膜があまりにも深く、SC 先導の走行スピードでも簡単にハイドロが発生。加えて前走車の巻き上げる水しぶきで視界はほぼ無い状況。結果的に SC 先導で 2Lap が終了した時点で赤旗中断、そのままレース終了となり、決勝結果は 2 位となった。

現地まで応援に駆けつけてくださった皆様、配信映像で応援してくださっていた皆様には大変申し訳ないレースとなったが、レースコントロールの方々が競技者を守る判断をしてくださったことに感謝の想いを抱くとともに、来シーズンに向けてしっかり準備して最高のパフォーマンスで開幕戦を迎えることを決意した。





<決勝リザルト>

Pos.	No.	Car	Laps	Total Time	Gap
1	72	OHLINS CIVIC NATS	2	8'11.253	
2	**743**	**Honda R&D Challenge FL5**	**2**	**8'14.372**	**+3.119**
3	7	新菱オート DXL☆MART☆VARIS エボ	2	8'16.811	+5.558
4	6	新菱オート DXL☆ネオグローブ EVO X	2	8'18.809	+7.556
5	95	SPOON リジカラ CIVIC	2	8'19.353	+8.100
6	13	ENDLESS GRYARIS	2	8'20.022	+8.769
7	67	YAMATO CIVIC	2	8'22.105	+10.852
8	225	KTMS GR YARIS	2	8'25.735	+14.482
9	36	HCM 内野製作所 FL5	2	8'29.092	+17.839

＊＊＊以上完走＊＊＊

ドライバーコメント

A ドライバー 尾藤 成



木曜日時点で、決勝の天候が怪しい事は認識していましたが、着実に予定していたセットアップをこなし、マシンパフォーマンスをさらに update する事ができたと同時に、新たな課題も見つける事ができました。この 1 年の進化として、昨年の予選タイムを更新する事もできましたし、チームメンバー全員の成長を予選結果に繋げる事ができたのはとても良かったです。

決勝においても、初トライの WET セッティングで臨みましたが、天候の悪化で赤旗中断となってしまいました。現地に応援に来てくださった皆様、動画配信で応援してくださった皆様には申し訳ない気持ちですが、運営の方々の賢明な判断で我々も無事レースウィークを終える事ができました。

また来シーズンに向けて全力で取り組んでいきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

B ドライバー 小林 天翔



木曜日にセットアップの方向性がうまくまとまり、金曜日のロングランでは決勝に向けたパフォーマンスの高さも確認できました。ドライビング面でも、年間を通して取り組んできたことが少しずつタイムに表れるようになり、良い感触のまま予選を迎えることができました。

予選では、チームがクリアラップを取れる位置でコースに送り出してくれたことや、タイヤの前後入れ替えなど全面的にバックアップしてくれたことが功を奏し、チームとして 2 番手という結果につなげられたことにほっとしています。

決勝は雨のため、セーフティカー先導の 2 周で終了となりました。応援してくださった皆様にレースをお見せできなかったことは残念ですが、安全なレース運営のために必要な判断だったと思います。来シーズンもレースを通じた人材育成に取り組んでまいりますので、ご支援・ご声援のほどよろしくお願いいたします。

C ドライバー 桂 伸一



富士 24 時間以来の乗車となりましたが、まずエンジンが非常にパワフルに感じられました。摩耗したタイヤでは旋回立ち上がりでホイールスピンが多く発生していたため、車両姿勢も含めて新品タイヤとの違いや自身のタイムについても今後確認してみたいポイントです。

高速域ではノーズが若干左右に動く場面があるものの、フルブレーキング時のリヤの接地感と安定性は高く、安心してハードブレーキングできました。

決勝は雨となり、低 μ 路での接地性向上を狙った前後足回りのセッティングについて提案しました。今回得られた知見を、今後のサスペンションセットアップにも活かしてもらえればと思います。

チーム代表コメント　長福 夏紀

Honda R&D Challenge としてはオートポリス大会が ST-2 クラス休止に加え、チーム判断により岡山大会への参戦を見送ったことで、約 4 か月ぶりのレースとなりました。この間にメンバーの入れ替えなどもあり、改めてチームビルディングに取り組んで臨む大会となりました。長いインターバルを活用し、各領域が抱える課題を隅々まで洗い出すとともに、再挑戦するマインドでチーム一丸となって取り組んできました。その結果、レースウィークを通して大きなミスもなく、現時点で我々ができるベストな状態を作り出せたと感じています。

それを裏付けるように、予選では各領域がベストな状態で車両とドライバーをコースに送り出し、ドライバーもそれに応える走りを見せてくれました。A/B ドライバー共に 1 分 50 秒台を叩き出し、並み居る競合にも引けを取らずフロントローを獲得できました。これは、チームの総合力が着実に向上していることを実感できる結果であり、大変誇らしく思います。

決勝は、刻々と変化する天候の中でのレースとなることを想定し、難しいコンディションへの対応も含め、前向きに挑戦する気概を持って準備を進めていました。しかし、その機会は翌年へ持ち越すこととなりました。少し残念ではありますが、当日の状況を鑑みると、主催者様のご判断は英断であったと考えています。

改めて、主催者の皆様をはじめ、関係者の皆様、ステークホルダーの皆様の支えがあってこそ、私たちはこのような挑戦を続けることができています。心より感謝申し上げます。

最後に、1 年間 Honda R&D Challenge を支え、応援してくださったすべての皆様に、チームを代表して心より御礼申し上げます。

ポイントランキング

Rank	No	CAR	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	Total
1	13	ENDLESS GRYARIS	10	22.5	45	20		15	4.5	117
2	95	SPOON リジカラ CIVIC	20	32	23	15		D.N.F.	6	96
3	72	OHLINS CIVIC NATS	6	18	37	4		14	17	96
4	225	KTMS GR YARIS	15	6	27	12		20	2.25	82.25
5	**743**	**Honda R&D Challenge FL5**	**12**	**D.N.F.**	**18**	**12**			**11.25**	**53.25**
6	6	新菱オートDXLネオグロープEVOx	2	15	D.N.F.	3		10	7.5	37.5
7	36	HCM 内野製作所FL5	8	9	13			6	1.5	37.5
8	7	新菱オートDXL☆MART☆VARISエボ	D.N.F.	12	D.N.F.	6		8	9	35
9	67	YAMATO CIVIC	4			8			3	15



＜問い合わせ先＞

チーム代表　　長福 夏紀　Natsuki_Chofuku@jp.honda